

A 課題の整理 I 援助者が感じている課題

① 事例にあげた課題に対して、あなた自身が困っている事、負担に感じている事等を具体的に書いてください。

- ・「もう帰るから」「家に電話して下さい」「い・いい一人で帰るから」常に帰宅願望がある。

【質問】

本人は何故家に帰りたいのか、あなたなりに考えた場合例えばどんな理由が考えられますか？

【回答】

突然仕事を投げ出してしまう。→仕事、同じ行為が限界に達してしまった。
一生懸命福祉職として働いていた時の気持ち（記憶）になっているのでは？
そして「もう自分は年なんだから」ゆっくりしたくなった→疲れてしまったのでは？

- ・徐々に表情が陰しくなり口調も荒くなる。暴言、暴力へとエスカレートしてしまう。

【質問】

家に帰りたいと本人が言い出した時、あなたやスタッフは本人とどんな言葉、あるいは態度を示しますか？またそれに対して本人はどんな言葉、態度を示しますか？

【回答】

本人が「電話して下さい」と訴えた時、「電話番号は？」「今使用中です」「仕事のように」等々、たくさんの言葉に「もうごちゃごちゃで」と混乱してしまっている。
「電話して下さい」の本人の希望がごちゃごちゃしてきて、訳が分からなくなり、ますます「帰りたい」になってしまう。誰の（スタッフ）力も借りず、自分の力で帰ろうとする。止めるスタッフに暴言、暴力となってしまう。外に出て助けを求め、民家に飛び込む。そこでも暴言、暴力となってしまう。

B 課題の整理 II 援助者が想定する対応・方針

② あなたは、この方に「どんな姿」や「状態」になって欲しいのですか。

- ・帰宅願望がなくなり、落ち着いて過ごすことが出来る。
- ・得意な台所仕事を楽しくして、活躍し、生活の場所になってほしい。
- ・ゆっくり、安心して生活してほしい。

【質問】

「落ち着いて・ゆっくり・安心して」という状況は具体的に本人にとってどんな生活ぶりになりますか？出来るだけ具体的に考えてみてください。

【回答】

常に「帰らなければ」との思いがあって生活している。
椅子にゆっくり腰を下ろし、ゆっくりお茶を飲んだり、皆と話したりして生活してほしい。
外出・ドライブも「送ってもらえる」と思うのではなく、「皆で楽しく出かける」と楽しんでほしい。
台所仕事も仕事としてではなく、自分の食べるため、皆で食べるため、ここでも生活の自分の役割と

して楽しくしてほしい。

③ そのために、当面どんな取り組みをしたいと考えていますか(考えましたか)

- ・ 昼食、夕食の準備の手伝いをお願いしている。
- ・ 食後の片付けをお願いしている。
- ・ とても博識。団欒の時、話をふり知識を発揮出来る場面を多くしている。

【質問】

具体的には本人はどんな事柄に詳しいのですか？あるいはどんな事が得意なのですか？また、話をするときには誰（スタッフ、他の利用者等）と話をしているのですか？

【回答】

魚のさばき方はプロ並み。かなり自信がある。

家で昔の生活の子供のころ、しつけと手伝いと知識と一緒に身につけている。

勉強が大好きだった。

スタッフが「これは、どうすればいいんですか？」と問う。それに対してどんどん話が広がる。

C 本人の状態や状況を事実に基づいて確認してみよう

④ 困っている場面で、本人が口にする言葉、表情やしぐさ等を含めた行動や様子等を事実に基づいて書いてください。

- ・ 「あ～もう……帰るから。」「もう疲れた」と廊下のベンチに座り込む。目を閉じる。かたくなな表情。

【質問】

本人が上記のようなことを訴える時、本人はどんな感情なのでしょう？

【回答】

スタッフ、利用者、誰をも受け付けられない状態。

寒さ、疲れでどうしようもない状態。

- ・ 「もう私も年なんだから」「辞めるから」「家でゆっくりするから」等訴える。
- ・ 廊下の方、台所の方、とウロウロして「玄関どこ」と探している。

【質問】

こうした行動を本人がとっている時、本人の心持ちはどんな思いなのでしょう？不安？心配？混乱？自信のなさ？恐怖？etc・・・？

【回答】

ここの誰も自分の助けにはならないと、不満、不安、疲れ果ててしまった。いつまで続くの？と不満、不安。

D 課題の背景や原因等の整理

⑤ 本人にとっての行動や言葉の意味を理解するために、別紙の展開図に記入してから、課題の背景や原因として考えられることを書きだしてみましょう。

- ・ 寒さに極端に弱い。
- ・ 体が疲れはててしまう。

- ・ ただ居るのはもったいない。
- ・ 便秘である。

E 事例に書いた課題を本人の視点に置き換えて考えてみよう

ここで、この事例を本人の立場から、もう一度考えてみましょう。

本人の言葉や様子から、本人が困って（悩んで）いること、求めていることは、どんな事だと思いますか？

- ・ 寒くてこんなところに居られない。
- ・ 体が疲れている。
- ・ 何もすることがない。

【質問】

本人はどんな風に生活したいと考えているのでしょうか？それを示す具体的な本人の言葉はありますか？

【回答】

「私もホームに入所して」と気分の良い時、話している。老人ホームに入所して、そこで自分も皆の世話をしながら生活したいと思っている。

本人が小さい頃から遊びに行ったりしていた場所、児童養護施設とか併設している施設。

【質問】

本人が望んでいる生活をあなたなりに考えた場合どんな生活が想像できますか？

【回答】

自分の出来ること（やはり台所仕事）を中心に、お昼ごはんを一緒に作り、ゆっくりコミュニケーション、本人の博識な話をして過ごし、また夕方、夕ごはんを一緒に作る。

「あ～今日も一日終わった。良かった、良かった」と思っしてほしい。

「また明日ここで起きて、一日が始まるんだ」と予定、先が分かる生活。

F 課題解決に向けた 新たなアイデア

⑥ あなたが、このワークシートを通じて思いついたケアプランなど、新しいアイデアをいくつか書き出してみましょう。

- ・ 寒くなりかけた時、上着を羽織る・場所替えをし、暖をとれるようにする。手・足浴をして頂く。温かい飲み物を飲んで頂く。
- ・ 一生懸命になってしまうか、集中力が持たないため逃げ出してしまう。表情、時間を見ながら区切り、切り上げをして、休めるようにする。

【質問】

「一生懸命」な時の本人というのは具体的にどんな状態ですか？言葉、仕草、表情、etc・・・また、それを周りのスタッフは感じる事がたやすいですか？

【回答】

魚をさばいている時、2匹目ぐらいで投げ出してしまう、「もうあんたたちやりなさい」と、使用していたまな板、包丁等流し台を、片付けもしない（調子の良い時は、きれいにする）。笑顔もない。急に立ち去る。スタッフは「あっ長かったかな？」察するのが遅かったと感じている。

- ・何もすることがなく、自分で何をしたらいいのかと立ち止まっている時「良い天気ですね」等明るくなるような声掛けをし、次にする事「お茶入れました」等、ウロウロする前の働き掛けをしていく。
- ・気分の良い時、「ここでゆっくり生活してほしい」と語りかけていく。

【質問】

「気分の良い時」の本人というのはどんな様子、態度ですか？また逆に「気分が悪い」時の本人はどんな様子、表情、言動なのですか？

【回答】

皆で、一つのテーブルで昔話、特に戦争時代の自分の家族、生活、知恵、工夫して生きてきたかことを他の利用者、スタッフと語り合っている。

各々が居室、和室等で自由に過ごしている時、自分はどうしていいのかわからなくなってだんだん暗い固い表情→ウロウロ行動となってしまう。

（助言者の考察）

本人にとっては高齢になって体や気分が自分の希望に十分ついてこないことがストレスになっているのではないかと感じました。出来ることは、いや、してきたことはしなければ、という責任感の強い部分の感情と、実際には昔覚えた技術やスキルが少しずつ失われているという現実感を感じ、心が不安定になっているのではないのでしょうか？記憶の障害により、先のことについて見当をつけることが難しくなっています。認知症の人は過去の記憶だけではなく、少し先の未来の記憶も不確かな中で精いっぱい頑張っている生活しています。しかし、以前できていたことは記憶から失われても、感覚や感情が覚えているのです。そのため現実とのギャップの中で混乱や不安や自信のなさにつながっています。本人は周りで支えているあなたやスタッフを一番の頼りにしています。間違いなくあなた方に期待しているのです。